



DH 岩崎るいさん(愛知県)

“フロスがあたり前”
の社会になるまで、
伝え続けたい

「鍼灸院での活動を終えた帰り、車の中で涙があふれました。

やりきった感と、スタッフの方々の言葉がうれしくて」

目を潤ませながらそう話してくれた、歯科衛生士の岩崎るいさん。

4年前にGoodbye Perioプロジェクトに参加し、

現在は歯科医院で働きながら活動に励んでいます。

“グッペリ活動が自分の居場所”と断言できるのは、なぜでしょうか?

それから私は頭の片隅に置いておくことにしたんです。歯科衛生士として社会のためにできることがあつたら、加わってみよう。どんな形でもいいから自分の資格を活かしていくつて。

歯科衛生士として働くことの目的って、いろいろありますよね。自分自身もせつかくこの世に生まれたんだから、めだつたり、社会貢献だつたり……自分自身のスキルアップだつたり、患者さんのためになりました。

菌種衛生である意味
見つめ直しました

うと思い、「クライアント先の鍼灸院

い存在だと思っています。
そんな岩崎さんがグッペリ活動とい
うものをやっていると知つて、驚きま
したね。休日を使ってまで、なんて熱
心なんだろうつ。こんなに頑張つて
取り組まれている姿を少しでも多く
の人に知つてもらうお手伝いができた

岩崎さんは長いお付き合い。かれこれ10年間もメインテナンスでお世話になっています。ブロ意識が高く、生懸命な彼女に出会ってからは、歯科衛生士のイメージが変わりました。

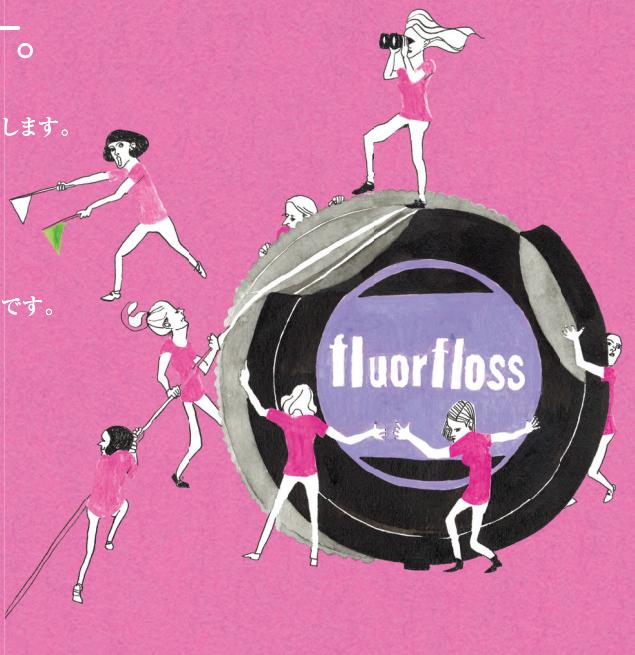
コンサルティング会社代表
さきいた
切田 千賀子さん(愛知県)



歯科衛生士として歯周病予防を伝えたい、歯ぐきケアを広めたい——。

一人ひとりが目標を持ち行動を起こせば、たくさん的人に変化や感動をもたらします。
ジンジバルブラークコントロールの大切さが伝わるのはもちろん、
「自分の健康のために、こんなに親身になってくれる人がいるんだ」
「熱い想いを持って、アドバイスしてくれているんだ」
その気持ちちは必ず相手に伝わり、あなた自身のやりがいとなって返ってくるのです。

そして歯科衛生士の想いを受け取った人は、家族や友人、同僚へ。
大切だと感じたことを伝え、広めていきます。



あなたは
何をする?

● Goodbye Perioプロジェクトを体験してみよう!



■埼玉県 / 4月3日(日)12時~16時

『大宮献血ルーム・ウエスト』でのグッペリ活動

「大宮駅」より徒歩5分

* 実際にグッペリ活動を見学できます。

■愛知県 / 4月3日(日)13時~15時

『イーブルなごや』で東海エリアミーティング

「東別院駅」より徒歩3分

* 歯科衛生士同士で活動に関する情報や悩みを共有できます。

● ポスターを使って関心を持ってもらおう!

歯周病予防デーをより多くの人に知らせるための、ポスターがダウンロードできます!

院内に掲示したりデータをSNS上でシェアしたりして、

4月4日が大切な日であることを広めていきましょう♪

体験のお申し込みやポスターのダウンロードは
グッペリのHPから!

<http://perio.tuftclub.jp>

Goodbye.
Perio Project

身近なところに、
心強いサポートが!

やってることは間違いない
確信が持てました

だからこそ、グッペリを知ったときは「やるべきことはこれだ!」と感じました。自分もメンバーの一員として歯周病予防を広めていきたいと、参加を決めました。

ただ、熱意を持つて臨んだものの、活動を進めていくうえでは大きな壁を感じます。日本では、まだまだ予防という考え方自体が知られていないんですね。歯周病予防に関して「フロスって何?」「歯ブラシじゃダメなの?」。そういう認識の人は、私の周りにもたくさんいます。実際にグッペリ活動のオファーを地元の企業や学校にても、関心を持ってもらえないことが多いです。現状を自分が変えられるのが不安に感じていました。

だからこそ、切田さんがグッペリ活動に関心を持ってくれてすごくうれしかったです。活動に込める想いを話すと「素晴らしいですね」と共感してくれたのです。活動を見学させてもらえたこと、身近な人が自分の頑張りに目を向けてくれたことがすごく心強かったです。不安だった気持ちを、もう一度立て直すことができました。

ただ、熱意を持つて臨んだものの、活動を進めていくうえでは大きな壁を感じます。日本では、まだ予防という考え方自体が知られていないんですね。歯周病予防に関して「フロスって何?」「歯ブラシじゃダメなの?」。そういう認識の人は、私の周りにもたくさんいます。実際にグッペリ活動のオファーを地元の企業や学校にても、関心を持ってもらえないことが多いです。現状を自分が変えられるのが不安に感じていました。

だからこそ、切田さんがグッペリ活動に関心を持ってくれてすごくうれしかったです。活動に込める想いを話すと「素晴らしいですね」と共感してくれたのです。活動を見学させてもらえたこと、身近な人が自分の頑張りに目を向けてくれたことがすごく心強かったです。不安だった気持ちを、もう一度立て直すことができました。

鍼灸院でのグッペリ活動は、かなり緊張しました。実は自分で企画したのはそのときが初めて。責任の大きさが全然違い、プレッシャーで食事も喉が通りませんでしたね。でも、ようやく掴んだチャンス。切田さんの想いに応えるためにも絶対に成功させたくて、何度も練習を重ねたんです。

本番が無事に終わったときは、やりきった感がこみ上げてきました。そのうえ、スタッフのみなさんから温かい言葉をいただいて感動。「岩崎さんと出会わなければ、フロスなんて知らないかった」「定期健診に行つてみようと思います」

鍼灸院でのグッペリ活動は、かなり緊張しました。実は自分で企画したのはそのときが初めて。責任の大きさが全然違い、プレッシャーで食事も喉が通りませんでしたね。でも、ようやく掴んだチャンス。切田さんの想いに応えるためにも絶対に成功させたくて、何度も練習を重ねたんです。

本番が無事に終わったときは、やりきった感がこみ上げてきました。そのうえ、スタッフのみなさんから温かい言葉をいただいて感動。「岩崎さんと出会わなければ、フロスなんて知らないかった」「定期健診に行つてみようと思います」

そういった声を聞いて、確信が持てましたね。私がやっていることは間違いない。これからも伝えてできるんだと実感したんです。あの感覚は、お金には変えられないものでした。

求めてくれる人がいるとわかつたからには、今はどんなことがあってもフロスを広めようと思っています。すべての人に受け入れてもらえるわけではありませんが、続けるのをやめてしまった結果にもつながりません。この活動だけは、歯科衛生士としてずっと継続していくつもりです。

そういった声を聞いて、確信が持てましたね。私がやっていることは間違いない。これからも伝えてできるんだと実感したんです。あの感覚は、お金には変えられないものでした。

求めてくれる人がいるとわかつたからには、今はどんなことがあってもフロスを広めようと思っています。すべての人に受け入れてもらえるわけではありませんが、続けるのをやめてしまった結果にもつながりません。この活動だけは、歯科衛生士としてずっと継続していくつもりです。





4月4日は、特別な想いが込められた日

まもなくやってくる4月4日は、歯周病予防デー。

2012年にGoodbye Perioプロジェクトが

日本記念日協会に申請し、認定されました。

この日をつくったのには、特別な理由があります。

ひとつは、歯周病予防の大切さをたくさん的人に知ってもらいたいから。

歯周病が全身疾患に関わる恐ろしい病気ということを、まだ多くの人は知りません。

歯肉炎の段階でケアすれば改善ができると知らせることができれば、

多くの患者さんを健康へ導けます。

そしてもうひとつは、「資格を持つている私たちにしかできないことがある」と

歯科衛生士自身にもう一度思い出してほしいから。

歯周病予防の概念を正しく広められるのは、口腔のプロである歯科衛生士だけです。

「成人の歯周病罹患率80%」という日本の現状を変えられる重要な存在だと

一人ひとりが胸に刻んでおくのは、大事なことだと思いませんか？

そんな歯周病予防デーに向けて着々と準備をしているのは、愛知県の歯科衛生士、岩崎るいさんです。

岩崎さんは普段からグッペリ活動を通して歯周病予防を一般の方に伝えることで、たくさんのやりがいを感じています。

実は、活動に熱を入れ始めたきっかけはある方との出会いでした。

岩崎さんの歯科医院内での取り組みや院外での活動を見て、エールを送ってくれた人がいたのです。